

政策整理番号	26	施策番号	3	評価シート(B) (施策評価: 施策を構成する事業の評価)	
対象年度	H18	作成部課室	環境生活部 生活・文化課	関係部課室	教育庁 生涯学習課
政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興			政策番号	3 - 8 - 1
施策番号	3	施策名	県民が行う創作活動や表現活動への支援		
施策概要	創造的な営みを通していきいきとした暮らしを実現するため、県民が自ら行う創作活動や表現活動を支える体制づくりを目指します。				
政策評価指標 / 達成度	県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)	B			

達成度: A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している) ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

### 施策を構成する事業の分析

活動(事業) / 活動(事業) によりもたらされた結果					活動(事業) によりもたらされた成果							
事業番号	事業名 【担当課】	事業の対象 (誰・何を対象として)	事業の手段(内容) (何をしたのか)	業績指標名(単位) (事業の活動量、「事業の手段」に対応)	H16	H17	H18	事業の目的(意図) (対象をどういう状態にしたのか)	成果指標名(単位) (事業の成果、「事業の目的」に対応)	H16	H17	H18
					業績指標の値					成果指標の値		
					事業費(決算(見込)額, 千円) 単位当たり事業費(千円)							
1	宮城県芸術祭・みやぎ県民文化祭 【生活・文化課】	県民・アーティスト	県民に文化芸術活動成果の場を提供。	主催事業会場数(会場)	57	63	104	より多くの県民がその文化芸術活動の成果を発表する機会を得た。	入場者・参加者数(千人)	31	34	33
					2,736	2,736	2,600					
					48.0	43.4	25.0					
2												
3												
4												
				事業費計(千円)	2,736	2,736	2,600					

**B - 1, 2, 3 施策を構成する事業群の評価**

<b>B - 1 施策実現にむけた県の関与の適切性と事業設定の妥当性</b>	<b>B - 2 事業群の有効性</b>	<b>B - 3 事業群の効率性</b>
概ね適切	概ね有効	概ね効率的
<p>【評価の根拠】 施策を構成する事業の分析「B-1 事業への県の関与の適切性と事業設定の妥当性」を総括して記載</p> <p>・施策目的や社会情勢に沿った事業であり、県の関与も概ね適切と判断した。</p>	<p>【評価の根拠】 施策を構成する事業の分析「B-2 事業の有効性」を総括して記載</p> <p>・芸術家団体や、文化関係団体が主体的に事業を実施しており、参加者数も、開催圏域の違いによる差は認められるものの、ほぼ横ばいで推移しており、「概ね有効」と判断する。価値観の多様化により県民の文化・芸術活動への取り組み方も高度化・多様化しており、事業の展開についてもそのような状況に対応していく必要がある。</p>	<p>【評価の根拠】 施策を構成する事業の分析「B-3 事業の効率性」を総括して記載</p> <p>・入場者・参加者数は増加基調で推移しており、事業は概ね効率的に実施されていると判断する。</p>

**B 施策評価(総括)**

概ね適切
<p>【評価の根拠】 B - 1, 2, 3を総括し施策を総合的に評価</p> <p>県民が行う創作活動や表現活動への支援のため適切な事業であり、入場者・参加者数も概ね増加基調にあることから、総合的に判断して「概ね適切」とした。</p>
<p>【施策の次年度(平成20年度)の方向性】 この施策における今後の課題等を記載</p> <p>・地域文化及び県民の文化芸術活動の持つ力をそれぞれの地域の活性化につなげるために、引き続き県内文化団体の文化活動への支援を継続していく。</p>

**施策を構成する事業の分析**

活動(事業)の分析		
<b>B-1 施策実現にむけた県の関与の適切性と事業設定の妥当性</b>	<b>B-2 事業の有効性</b>	<b>B-3 事業の効率性</b>
<p>【国、市町村、民間団体との役割分担は適切か】 【施策目的及び社会経済情勢を踏まえた事業か】 【事業間で重複や矛盾がないか】</p>	<p>【成果指標の推移から見て、事業の成果があったか】 【施策目的の実現に貢献したか】</p>	<p>【事業は効率的に執行されたか(単位当たり事業費の推移その他から)】</p>
<p>(社)宮城県芸術協会、仙台市、仙台市教育委員会、河北新報社、(財)宮城県文化振興財団と共催し、県民の優れた芸術文化活動の発表の場と鑑賞機会を提供するもので、発表は芸術文化団体が実施。それぞれの役割分担は概ね適切。</p> <p>・県民が行う創作活動や表現活動への支援という施策目的に合致する事業である。</p> <p>・ライフスタイルの変化や団塊世代の大量退職などにより、今後更に文化芸術活動に対するニーズが高まると考えられる。</p>	<p>・業績指標の入場者・参加者数は、県立文化施設における入場者の減により、前年度に比べ減少しているが、宮城県芸術祭及びみやぎ県民文化祭の参加者数については、開催圏域の違いによる差は認められるが、ほぼ横ばいで推移しており有効であると判断する。</p>	<p>・予算の制約を受けながら、入場者・参加者数は増加基調で推移しており、概ね効率的に実施されている。</p>

**施策を構成する事業の方向性**

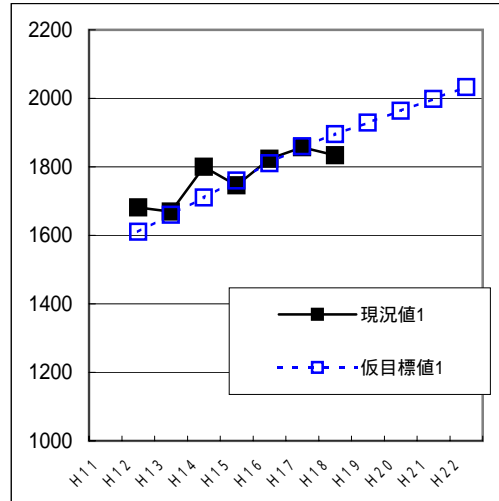
活動(事業)の次年度(平成20年度)の方向性とその説明	
方向性	方向性に関する説明
「宮城の将来ビジョン」における位置づけ	
取組番号	取組名
維持	・地域文化及び県民の文化芸術活動の持つ力をそれぞれの地域の活性化につなげるために、引き続き芸術協会や文化協会連絡協議会など県内文化団体の文化活動への支援を継続していく。
取組23	生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興

政策評価指標分析カード(整理番号1)

政策整理番号 26 施策番号 3

対象年度	H18	作成部課室	環境生活部 生活・文化課	関係部課室	教育庁 生涯学習課
政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興			政策番号	3 - 8 - 1
施策番号	3	施策名	県民が行う創作活動や表現活動への支援		

政策評価指標	単位
県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数 (主催事業参加者数)	千人(人)
目標値	H17 - H22 2,033千人 (12,000人)



評価年	初期値	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
測定年	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
現況値	1,560	1,681	1,669	1,800	1,746	1,823	1,857 (10,000)	1,834 (12,000)
仮目標値		1,610	1,660	1,710	1,760	1,810	1,860	1,895
達成度		A	A	A	B	A	B	B

達成度:A(目標値を達成している),B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)  
C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している),...(現状値が把握できない等のため判定不能)

**政策評価指標の概要**  
 県立文化施設5施設(東北歴史博物館,宮城県美術館,宮城県図書館,宮城県慶長使節船ミュージアム,宮城県民会館)の年間入場者数とみやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)の参加者数の総計(1月から12月)

**政策評価指標の選定理由**  
 ・県民が多く文化に触れることのできる環境が整備されつつあり、心の豊かさや潤いを実感できる環境の整備を示す指標として選定した。具体的には県民が文化に触れられる機会を増やすために、県立文化施設が連携した事業展開を図り、施設への入場者数の増加を目指す。また、芸術文化事業の充実を図り、質の高い文化の提供と県民の参加機会の拡大を目指す。

**達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し**  
 ・美術館等の入館者数が減少したことにより目標値及び前年度現況値を下回ったが、相対的には増加基調にある。また、県・市町村・民間団体の芸術文化活動を総合的に結びつけるみやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)の参加者は着実に増加している。  
 ・今後も、芸術文化事業の充実を図り、市町村、文化関係団体、文化施設等と連携しながら、県民に対する質の高い文化の提供と県民の参加機会の拡大を推進していく。

**政策評価指標の妥当性【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】**  
 ・昨年の行政評価委員会政策評価部会の指摘により、活動成果発表の機会の享受の程度を表す指標として、みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)の出品者・出演者数を今後の指標とする。